

平成 28 年度

今冬の記録



国道17号湯沢町三国付近

平成29年4月

北陸地方整備局 長岡国道事務所

管内の降雪、積雪状況

◆管内の今冬の降積雪概要

○ 11月2日 湯沢維持管内で 薬剤散布車が初出動
(昨冬より2日遅い)

○ 11月9日 湯沢維持管内で 初雪を観測
(昨冬より19日早い)

○ 11月9日 湯沢維持管内で 除雪車が初出動
(昨冬より18日早い)

○ 1月14日 ほぼ管内全域で 今冬一番の 日降雪量を記録
中之島43cm, 長岡46cm, 五十土30cm, 柏崎35cm,
出雲崎40cm, 小千谷42cm(3/8), 川口55cm,
小出64cm(1/15), 塩沢60cm, 湯沢70cm(1/15),
三俣78cm(1/15), 二居72cm(1/15)

○ 1月11日 注意体制へ移行
1月18日に注意体制を解除(平常体制)

○ 1月14～15日 平野部で今冬の最大積雪深を記録
2月13日 山間部で今冬の最大積雪深を記録
3月9日 中山間部で今冬の最大積雪深を記録

●今冬(平成28年度)における管内の最大積雪深

	観測所名	警戒 積雪 深 (cm)	今冬 最大 積雪 深 (cm)	記録日	観測所の設置場所
1	中之島	100	75	1月14日	長岡市中之島
2	長 岡	140	71	1月14日	長岡市川崎町
3	五十土	130	56	1月15日	柏崎市大字五十土
4	柏 崎	80	40	1月15日	柏崎市日吉町
5	出雲崎	80	45	1月15日	出雲崎町大字小木
6	小千谷	220	124	3月9日	小千谷市木津
7	川 口 (堀之内)	270	160	3月9日	魚沼市新道島
8	小 出	240	151	3月9日	魚沼市井口新田
9	塩 沢	220	173	2月13日	魚沼市市関
10	湯 沢	210	190	2月13日	湯沢町大字湯沢
11	三 俣	300	303	2月13日	湯沢町大字三俣
12	二 居	240	238	2月13日	湯沢町大字三国

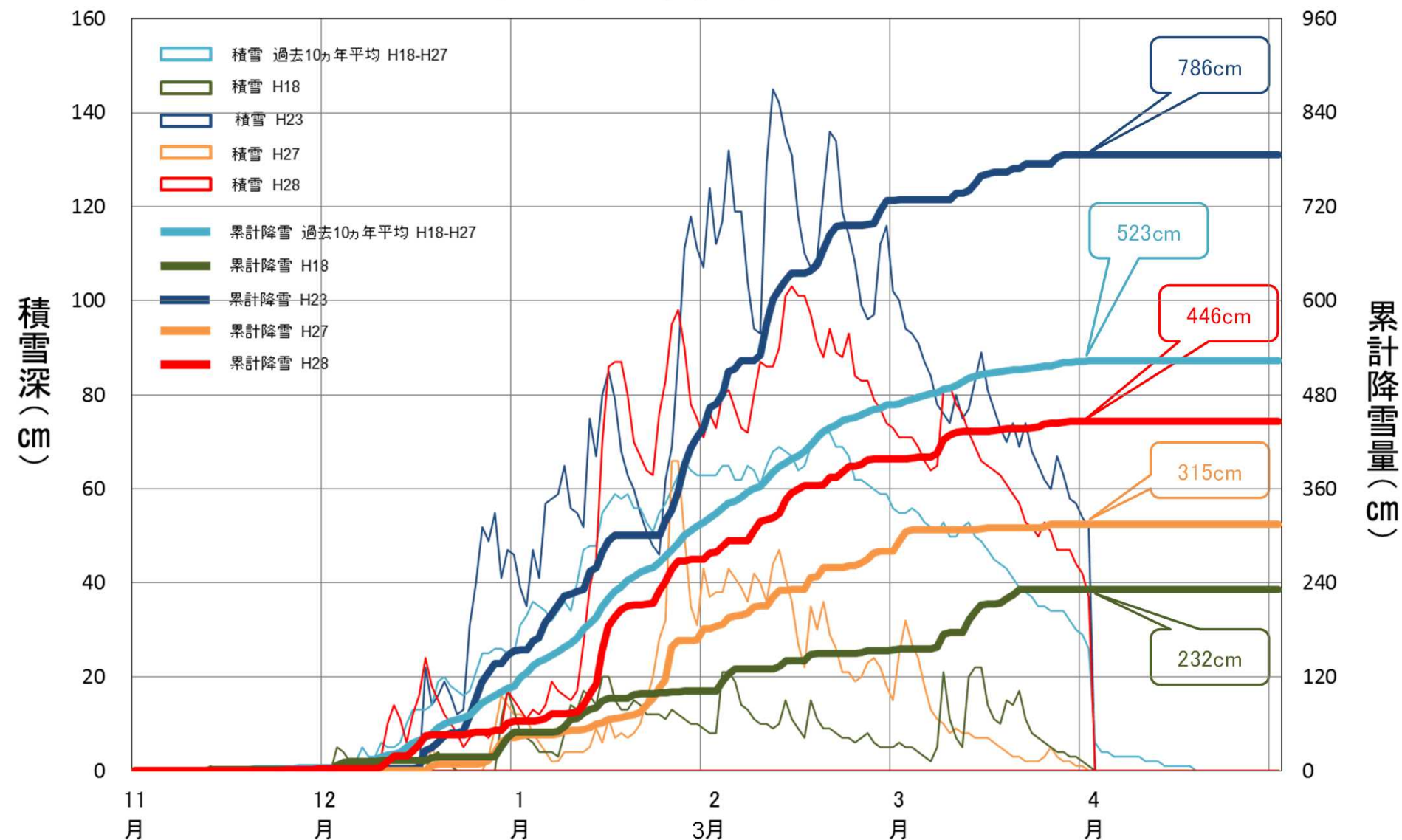
*管内 1 2箇所の観測所のうち警戒積雪深を超えた観測所は三俣観測所のみであった。

*累計降雪量は事務所全体で過去 1 0年平均の85%であり、平野部ではその6割～7割、中山間部ではその8割、山間部ではほぼ過去 1 0年平均と同じであった。

■ 積雪深・累計降雪量の比較（平成29年3月31日現在）

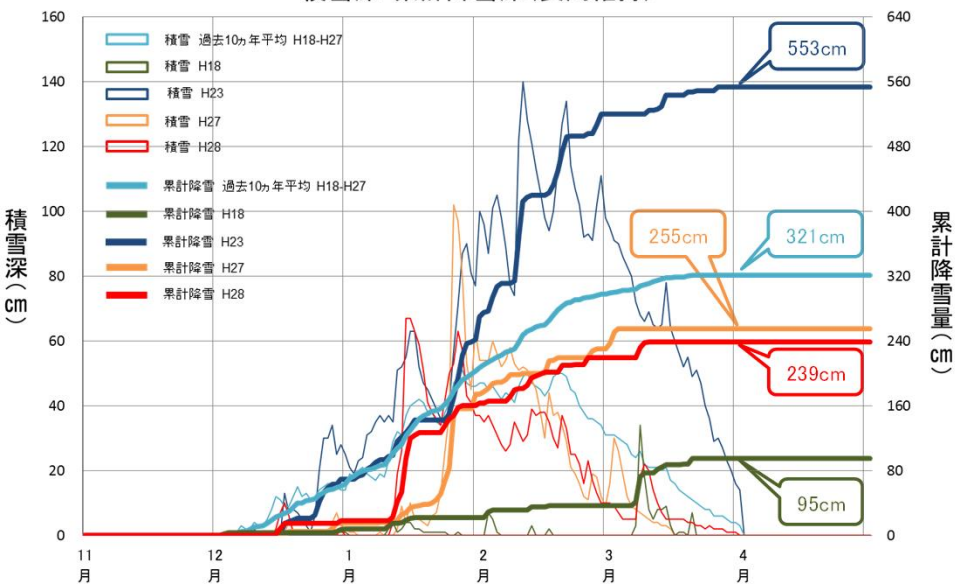
○事務所全体では、累計降雪量が昨年度の約1.4倍、過去10ヵ年平均の約85%となった。

長岡国道事務所管内平均

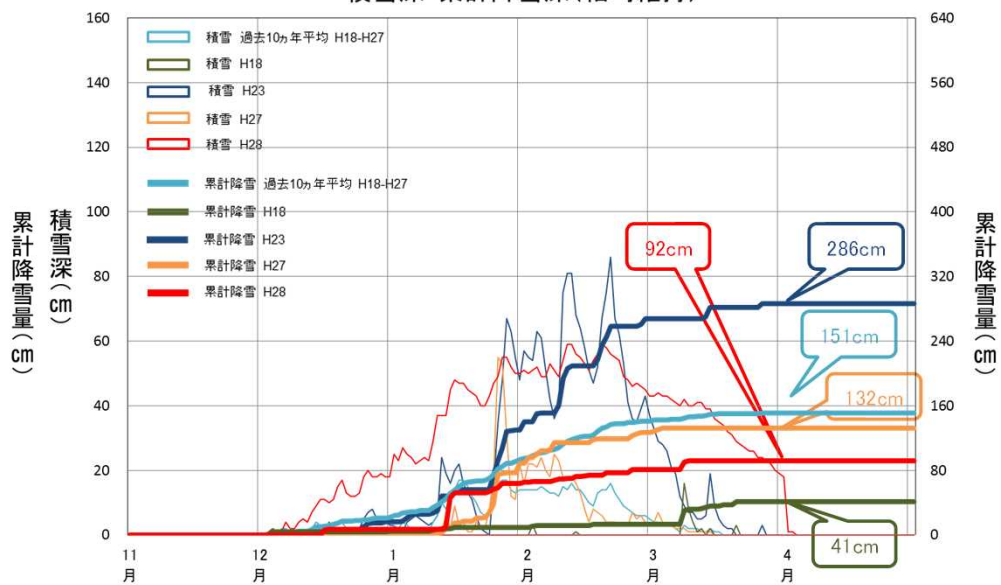


■ 積雪深・累計降雪量の比較(出張所別) (平成29年3月31日現在)

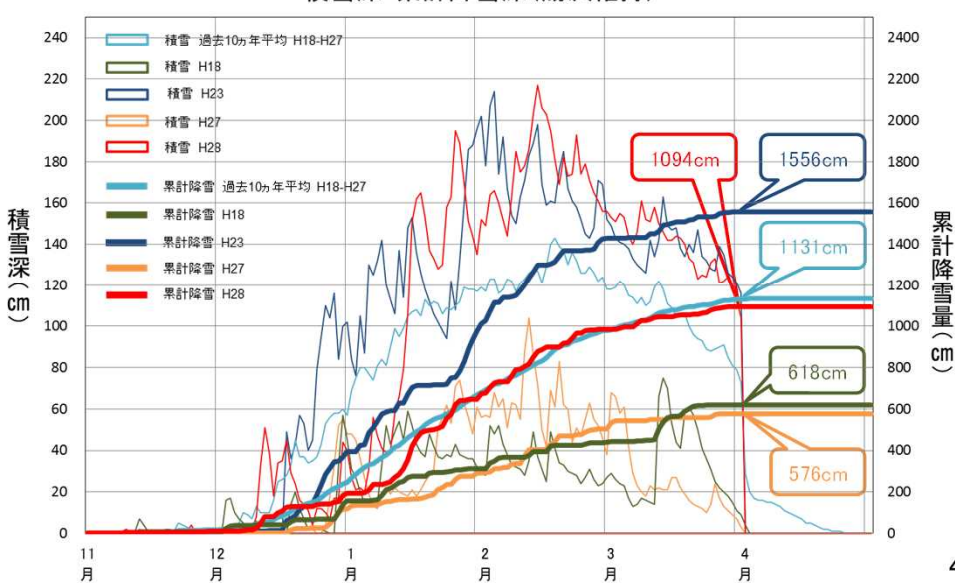
積雪深・累計降雪深(長岡維持)



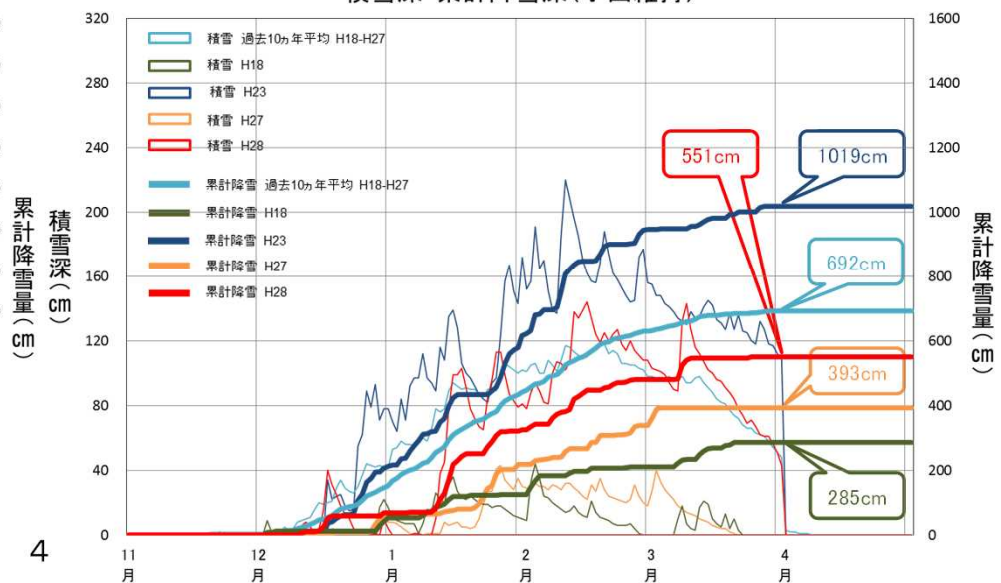
積雪深・累計降雪深(柏崎維持)



積雪深・累計降雪深(湯沢維持)



積雪深・累計降雪深(小出維持)



除雪計画・体制

- 平成28年度は、国道8号、17号、116号の管内総延長 214.8kmについて、常時2車線以上の幅員確保を目標に、127台の除雪車で除雪対応を行った。
- 雪害体制は、11月1日に道路雪害対策支部を設置し、1月11日に注意体制へ移行、1月18日に注意体制を解除(平常体制)、4月28日に平常体制を解除した。

◆10月28日 除雪出動式(塩沢道路ステーション)



○除雪出動式では、「南魚沼市立上関小学校4年生」からの激励、除雪機械の鍵引き渡しのほか、除雪機械の試乗等の体験学習会を実施した。



◆平成28年度 除雪機械配置計画表

出張所名	ステーション名	除雪延長 (km)	車道除雪機械								歩道除雪機械				合計
			除雪トラック	除雪グレーダ	高圧 洗浄 機	口除 雪 タ リ車	除 雪 ド ー ザ	ス ノ ー ロ ー ダ	凍散 結 防 止 剋 車	機 器 車	小計	小形 除 雪 車	小形 除 雪 機	小計	
長岡維持	中之島	19	2	1	2	2	1		1		9	3		3	12
	長岡	16.6	3	2	1	2	1		1		10	2		2	12
	宮本	17.2		1	4	3	1		1		10	4		4	14
柏崎維持	柏崎	(2.6) 34	2	1	3	2			2		10	8		8	18
	出雲崎	34.3	2	2	1	2			1		8	5		5	13
小出維持	堀之内	20.9	1	2	2	3			1		9	5		5	14
	小出	(4.0) 26.1		1	3	2			1		7	7		7	14
湯沢維持	塩沢	(1.8) 20.0		2	2	3			1		8	4		4	12
	湯沢	13.1	1		2	3	1		1		8	3		3	11
	二居	13.6	1	1	1	2	1		1		7			0	7
事務所計		(8.4) 214.8	12	13	21	24	5	0	11	0	86	41	0	41	127



※ 除雪延長上段()は、内書きでBP区間を記入。

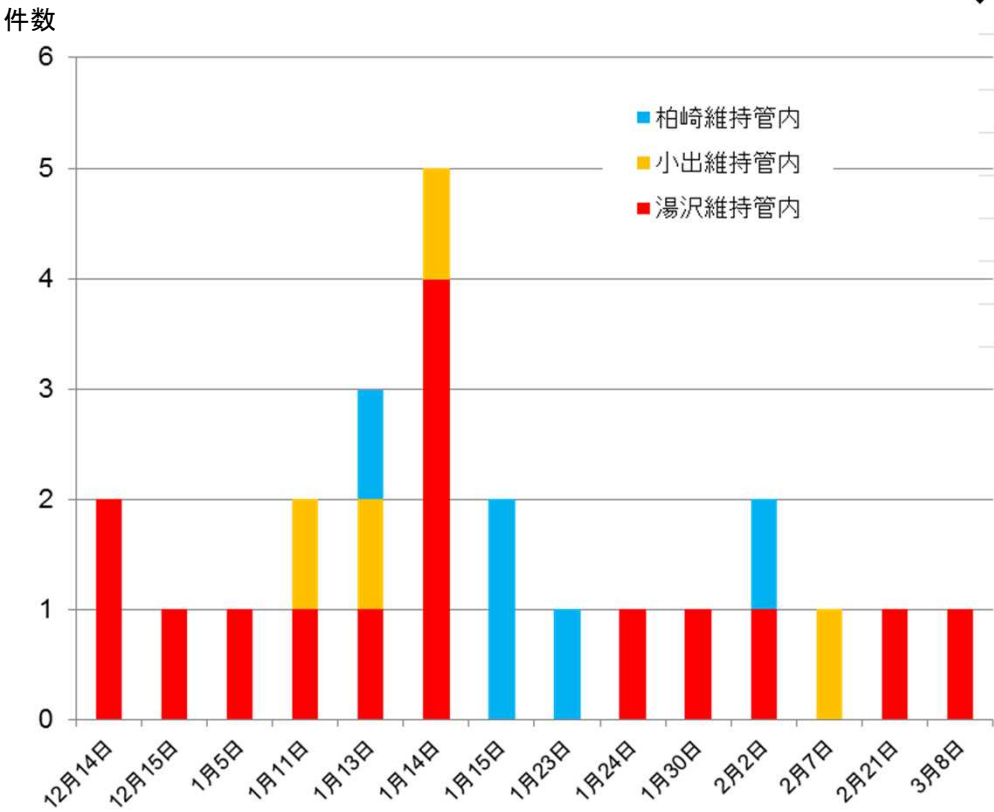
冬期交通確保状況

- 通行規制の実施状況
道路管理者が実施したチェーン規制及び雪崩等による通行規制は無かった。
- 災害対策基本法に基づく道路区間指定
該当なし。
- 登坂不能車発生状況
平成28年度は24台の登坂不能車が確認された。



国道17号長岡市東川口(坂塚)

◆ 平成28年度の登坂不能車発生状況



◆ 過年度の登坂不能車発生状況

年度	事務所 計	長岡維持	柏崎維持	湯沢維持	小出維持
H23	127	3	22	58	44
H24	132	1	10	49	72
H25	62	0	10	25	27
H26	108	0	4	52	52
H27	164	74	73	16	1
H28	24	0	5	15	4



国道8号柏崎市曾地

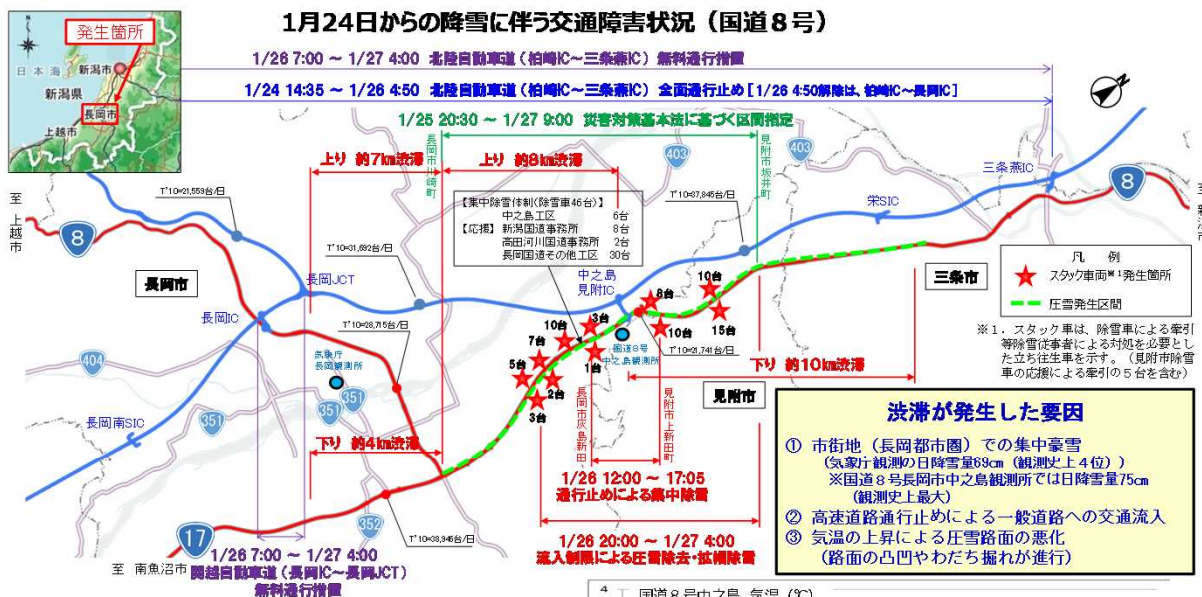
1. 平成28年1月の集中豪雪の検証と対策の立案【『平成28年1月集中豪雪の検証・対策検討会』を中心とした対策の立案】

- （1）日本上空に非常に強い寒気が入り、1月24日に北陸地方は冬型の気圧配置となった。見附市・長岡市上空には強い雪雲が流れ込み、記録的な大雪となった。
気象庁長岡観測所（最大日降雪量）：観測史上4位 国道8号中之島観測所（最大24時間降雪量）：観測史上最大
- （2）これにより、北陸自動車道が最大で約38時間の通行止め【柏崎IC～長岡JCT間（上下）】となり、並行する国道8号では見附大橋付近を先頭に上下線で25日午前2時頃から交通渋滞が始まり約50時間に渡る交通障害が発生し、経済活動や日常生活に大きな影響を及ぼした。
- （3）これを受け、『長岡圏域冬期道路交通確保連携会議』は、今回の集中豪雪への対応にあたって明らかとなった課題等について、検証するとともに対策を検討するため、『平成28年1月集中豪雪の検証・対策検討会』を設立し、平成28年度冬期の対策実行に向け、検討を重ね対策を策定。

長岡圏域冬期道路交通確保連携会議・構成機関

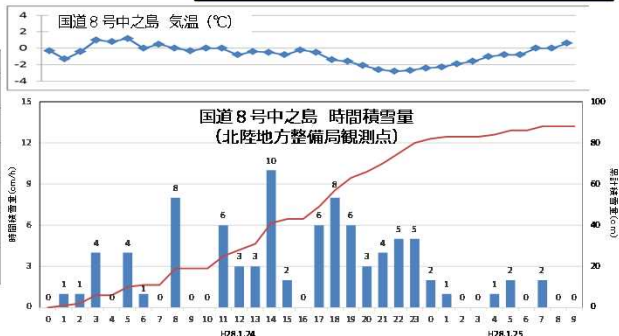
- ① 国土交通省長岡国道事務所
- ② 新潟県長岡地域振興局
- ③ 長岡市
- ④ 見附市
- ⑤ 小千谷市
- ⑥ 東日本高速道路株式会社長岡管理事務所
- ⑦ 長岡警察署
- ⑧ 見附警察署
- ⑨ 小千谷警察署
- ⑩ 高速道路交通警察隊

1月24日からの降雪に伴う交通障害状況（国道8号）



交通規制等の時系列

事象	1/24（日）	1/25（月）	1/26（火）	1/27（水）
【北陸自動車道】 通行止め（柏崎IC～三条IC）	14:35開始		4:50解除	
【国道8号】 スタック車両処理	22:30頃 （74台をけん引・牽引により処理）	22:00頃		
【国道8号】 災害対策基本法に基づく区域指定		20:30指定	9:00廃止	
【北陸道・関越道】 無料通行措置		7:00開始	4:00解除	
【国道8号】 通行止めによる集中除雪		12:00開始	17:05完了	
【国道8号】 流入制限による圧雪除去・拡幅除雪		20:00開始	4:00完了	



平成28年度冬期の対策実行に向けた検討会等での検討経緯

実施日	開催内容
1月28日	長岡市緊急連絡会議
2月2日	第1回長岡圏域冬期道路交通確保連携会議 ・集中豪雪の検証と対策を検討する検討会の設置について合意 ・今回の対応状況 ・今後の会議の進め方
2月5日	局打合せ
2月18～22日	流通業者等のヒアリング・流通業者、消防本部、バス事業者、タクシー事業者へのヒアリング
2月23日	幹事会・次回検討会の進め方・各機関の検討結果等
3月8日	第2回長岡圏域冬期道路交通確保連携会議 （平成28年1月集中豪雪の検証・対策検討会） ・検証結果・今後の対策の視点・今後の進め方
3月17～18日	関係機関ヒアリング・第3回資料に関するヒアリング
3月29日	第3回長岡圏域冬期道路交通確保連携会議 （平成28年1月集中豪雪の検証・対策検討会） ・対応策について確認、合意・訓練等の実施等
5月19日	事務所&本局打合せ・事務所と局の担当確認・検討の進め方の確認等
6月3日	担当者打合せ会議・現在の検証、対策検討状況の確認・各機関との必要な調整事項等
6月24日	事務所&本局打合せ・進捗状況の確認、今後の進め方等
7月1日	担当者打合せ会議・幹事会の事前打ち合わせ
7月5日	幹事会・対策について今後の対応を確認
7月15日	事務所&本局打合せ・進捗状況の確認、今後の進め方等
8月4日	事務所&本局打合せ・進捗状況の確認、今後の進め方等
8月22日	第4回長岡圏域冬期道路交通確保連携会議 （平成28年1月集中豪雪の検証・対策検討会） ・進捗状況の確認、情報連絡訓練実施の合意等
8月30日	担当者打合せ会議・「情報連絡本部」開設訓練の打合せ
9月8日	事前訓練・「情報連絡本部」の開設の事前訓練（長岡国道事務所のみ）
9月9日	事務所&本局打合せ・進捗状況の確認、今後の進め方等
9月14日	「情報連絡本部」の開設訓練 ・机上訓練により情報連絡、情報提供等の手順を確認
10月4日	第5回長岡圏域冬期道路交通確保連携会議 （平成28年1月集中豪雪の検証・対策検討会） ・訓練結果を踏まえ対応策の決定
10月26日	国とネクソの合同現地訓練 ・相互支援の現地確認等
12月7日	幹事会・「情報連絡本部運営マニュアル」の確認等
12月22日	除雪相互支援に関する連絡会 ・国、県、ネクソ、除雪業者で相互の除雪作業について情報交換

【4つの視点に対する34施策を立案】

- (1) 検討会を中心とした検討により、4つの視点に対して、機関連携施策を中心とした34項目の施策を立案。
 (2) このうち、平成28年度冬期に実施の目処がついた機関連携の17施策と個別機関の8施策の具体策を実行。

赤字：平成28年度冬に実施の目処がついた
 施策【機関連携施策】
 青字：平成28年度冬に実施の目処がついた
 施策【個別機関施策】
 黒字：引き続き検討し、内容を充実させる
 施策

平成28年1月の集中降雪を受けた4つの視点と34の施策、及び平成28年度冬に目処がついた施策

車両流入が避けられない市街地での除雪体制・除雪方法

スタック車を発生させないための事前対策

- ①チェーン携行・早期装着に係る広報・啓発の強化【全機関】
- ②スタック車多発地点への消雪パイプの設置の検討【国】
- ③沿線企業とのスタック車処理協力に係る協定等の検討【国・県・市】

市街地部及び渋滞時における集中除雪方法の検討

- ⑦交差点間の渋滞車両を排除した集中除雪方法の検討【国・県・市・県警】
- ⑧除雪車のスムーズな移動の調整（高速道路走行、Uターン等）【国・NEXCO・県警】

除雪・スタック車移動における関係機関の協力・連携

- ⑪除雪の相互支援の検討・実施（IC部、交差点部等）【国・県・市・NEXCO】
- ⑫国・県・市によるスタック車処理の相互支援の検討・実施【国・県・市】

異常降雪を想定した行動計画（タイムライン）の策定

- ⑮異常降雪時における行動計画（タイムライン）の策定及び訓練【全機関】

除雪体制の強化と異常降雪時の除雪方法の改善

- ④除雪車稼働位置の把握（除雪車稼働位置把握システムの構築等）【国】
- ⑤異常降雪時における除雪方法の変更（梯団編成の変更）【国】
- ⑥消雪パイプ設置区間の除雪対応【県・市】

異常降雪時の除雪支援体制の強化

- ⑨除雪車稼働位置の把握（除雪車稼働位置把握システムの構築等）【国】【再掲】
- ⑩広域応援のための除雪車配置の工夫（分散配置等）【国】

大雪渋滞時の迂回路設定と大型車の流入抑制

- ⑬迂回路線（大型車不可）の選定と広報及び協力をお願い【全機関】
- ⑭大型車流入抑制方法の検討【全機関】

渋滞部における流入抑制・交通誘導の強化

- ⑯渋滞区間へ新たに流入する交通の抑制及び他路線への誘導方法の検討【全機関】

住民、ドライバー、企業への除雪状況等の情報提供と不要不急の外出を控える呼びかけ

関係機関が連携した情報収集体制の強化

- ⑪気象現況、気象予測、道路・交通、体制状況の情報共有【全機関】
- ⑩CCTVカメラの増設の検討【国】

各種媒体の特性に応じた情報提供の実施と媒体の周知

- ⑪「豪雪時緊急道路情報提供システム」（長岡市）との連携【国・県・市】
- ⑫「交通情報提供サービス」の検討【全機関・JARTIC】
- ⑬コミュニティFM及びツイッター等SNSを活用した情報提供の充実【全機関】

不要不急の外出を控える呼びかけ等行動抑制情報の提供

- ⑰市町村の提供媒体を活用した行動抑制情報の提供【市】

情報連絡本部による情報の一元化と定時発信

- ⑮異常降雪時における情報提供計画の策定（発表資料の事前作成等）【全機関】
- ⑯情報連絡本部による一元的な情報発信（臨時、定時）【全機関】

住民・ドライバー・企業等が求める情報を迅速に提供

- ⑫ライブカメラ提供画像の増設【国・県警】
- ⑮マスコミとの連携・協力の検討（テレビテロップ等）【全機関】
- ⑯情報提供・情報交換を集約する専用サイトの検討・構築【全機関】

- ⑲広域（県内、県外）への流入抑制情報の提供【国・県・NEXCO】

並行する高速道路の早期交通開放

除雪車の機能強化及び増設

- ⑮除雪機械及びロータリー除雪車等の増強【NEXCO】

異常降雪時の除雪支援体制の強化

- ⑮広域で異常降雪が予想又は発生した場合の支援体制の検討【国・NEXCO】

ランプ部の散水消雪の設置

- ⑮長岡IC、中之島見附ICでの融雪装置の設置【NEXCO】

除雪における関係機関の連携・協力

- ⑮国・県・市・NEXCOによる高速道路本線・ICランプ部の相互支援の検討・実施【国・県・市・NEXCO】

長時間渋滞が発生した際のドライバー支援

ドライバー支援体制の明確化と事前準備による各種支援策

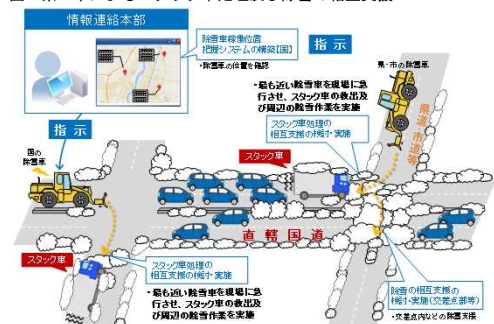
- ⑮ドライバー支援に対する関係機関の役割分担の検討【国・県・市】

- ⑮支援物資の調達・備蓄と集中除雪にあわせた配布方法の検討【国・県・市】

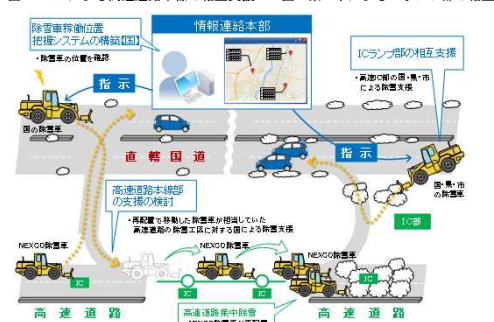
（２）除雪及びスタック車処理の相互支援体制の確立

- （１）交通障害を早期に除去するため、国・県・市及びNEXCOによる相互支援体制や手順を確立。
～平成28年度冬期における実働実績はなし～
- （２）除雪車による効率的な対処を実行するため『GPSによる除雪車稼働位置把握システム』を構築。県・市も除雪車位置情報把握のための連絡体制を確立して対応。
- （３）H28.10.26（水）に中之島見附ICにおいて、国とNEXCOによる相互支援実働訓練を実施。
(マスコミ公開)
- （４）相互支援の実行にあたり、H28.12.22（木）に国、県、NEXCO、除雪業者で相互の除雪作業についての詳細な情報交換会を開催。

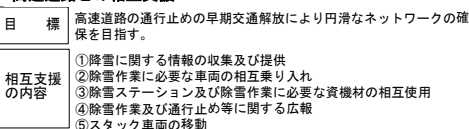
国・県・市によるスタック車処理及び除雪の相互支援



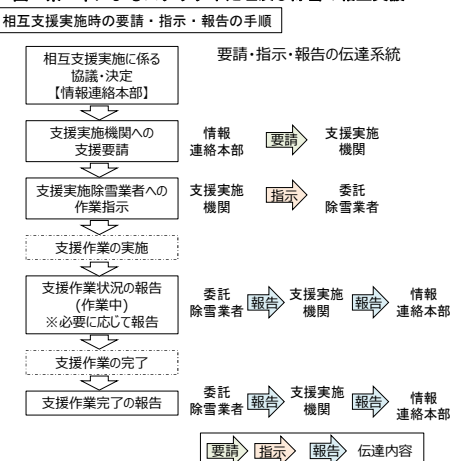
国・NEXCOによる高速道路本線の相互支援 国・県・市によるICランプ部の相互支援



高速道路との相互支援



国・県・市によるスタック車処理及び除雪の相互支援



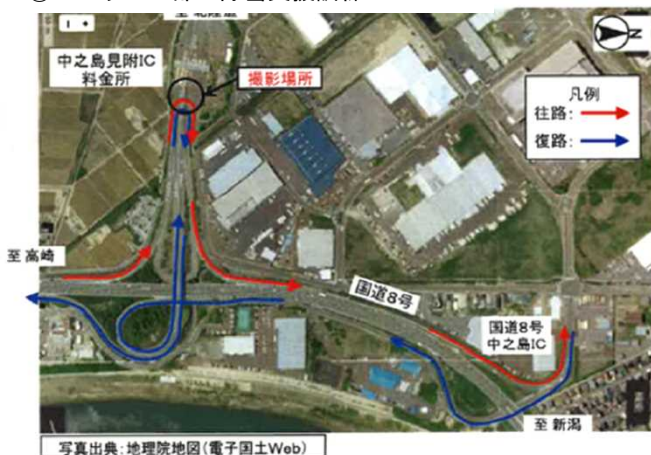
国とNEXCOによる相互支援実働訓練の実施（H28.10.26）

日時：平成28年10月26日（水） 14:00～15:00
場所：北陸自動車道 中之島見附IC
参加機関：東日本高速道路(株)長岡管理事務所、新潟県警察本部 高速道路交通警察隊、北陸地方整備局長岡国道事務所
訓練の目的：相互支援において国道の除雪車両が高速道路を走行することから、訓練を通じて除雪作業や料金所の通過方法などを確認し、円滑な相互支援を可能とするため
訓練内容：① 高速道路の本線除雪を想定し、国の除雪トラックで本線を走行
② ICランプの除雪支援を想定し、国の除雪トラックと除雪グレーダでランプ部を走行

① 高速道路本線の除雪支援訓練



② ICランプ部の除雪支援訓練



相互支援実働訓練実施状況

料金ゲート（流出）通過状況



ICランプ確認走行



料金ゲート手前Uターン通過状況



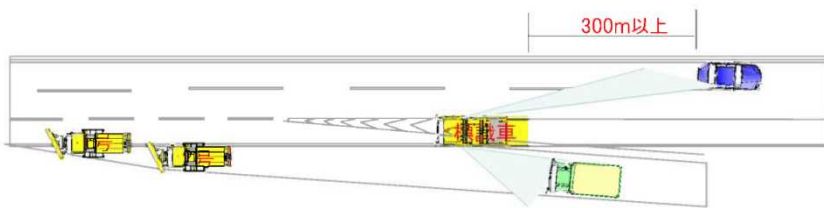
国、県、NEXCO、除雪業者で相互の除雪作業についての情報交換会を開催（H28.12.22）

実際の相互支援の実行にあたり、各機関の除雪作業にあたっての注意点について、具体的な情報交換を実施。

高速道路での除雪作業にあたっての注意点の例

4. 除雪作業の注意点

①除雪車本線編成時の特に注意する事



- ・ 標識車はゼブラに停止する。除雪車は加速車線に停止する。
- ・ 標識車は、一般車が**300m**以上離れている事を確認し除雪車にトランシーバーにて編成を組むことを連絡する。

4. 除雪作業の注意点

⑥Uターン路通過時の注意事項

- ・ 狭く坂道の為スリップし易いので最徐行とする。
- ・ 門扉手前約5mに必ず作業車は、**一旦停止**しゲートが上がった事を確認してから通過する。
- ・ 門扉通過後閉まったことを確認する。（車両停止位置を目印等で確認）
- ・ 門扉の下降停止位置を冬季用に切り替える。（通常より50cm上で停止）
- ・ 門扉の支柱脇の雪提は、ワイヤーの乱巻の原因になる為必ず雪を除去する。
- ・ 門扉端部の曲がり防止の為、スライドパイプ端部3～5本を上げ固定する。

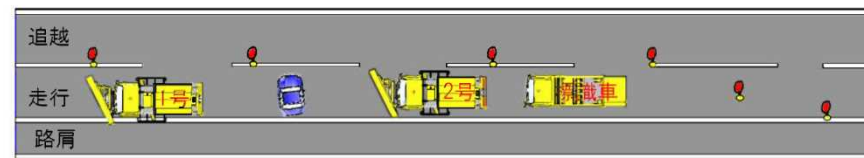


停止位置目印

5. 交通事故等遭遇時の対応

② 走行事故遭遇時の場合

- ・ 1号車は、事故車前に停止する。
- ・ 2号車は、そのまま事故車後方に停止する。
- ・ 標識車は、2号車の後方に停止する。
- ・ 標識車は、事故・右矢印に標示する。



情報交換会の実施状況 （H28.12.22（木））

会場：NEXCO東日本（株）
長岡管理事務所



（3）スタック車多発地点への消雪パイプの設置

（1）上り勾配のスタック車多発地点（3地点：見附大橋、池之島高架橋、新組跨線橋）での消雪パイプの設置について、平成28年6月から設計、10月から工事に着手し、平成28年12月に5区間の工事を完成し、稼働を開始。残る1区間も平成29年1月に工事を完成し、稼働を開始。

（2）通常、計画開始から約2年を要する工程を9～10ヶ月に短縮し平成28年度冬期のシーズン内の稼働を実現。

消雪パイプの設置計画から稼働に至る標準的な工程

	H27年度			H28年度												H29年度											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
消雪パイプ設置																											

平成28年度冬期シーズンでの稼働を目指した対応

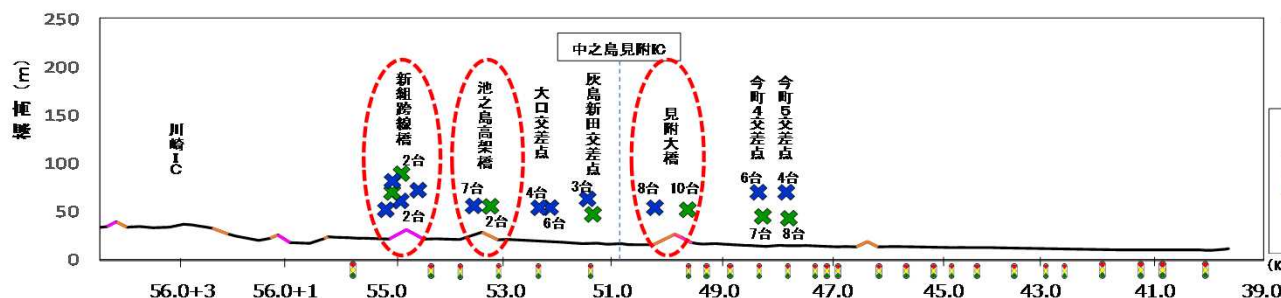
	H27年度			H28年度												H29年度		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
見附大橋																		
池之島高架橋																		
新組跨線橋																		

計画開始から約2年を要する工程を9～10ヶ月に短縮

新組跨線橋
H29.1.16の状況



完成した消雪パイプ稼働状況（新組跨線橋、H28.1.14）
工事完成とならなかった『上り線』は除雪の早期対応を図ったものの、消雪パイプが稼働した『下り線』の路面状況と歴然の差



完成した消雪施設
（消雪パイプ）



新組跨線橋(上り)



池之島高架橋(上り・下り)

（４）集中降雪時における除雪方法の変更

降雪状況によって梯団構成を変更しての対応を計画。 ～平成28年度冬期における実働実績はなし～

（１）広域応援のための除雪車配置の工夫

① 新潟地方気象台「大雪に関する気象情報」（概ねの地域・予想降雪量）が発表された場合、降雪状況に応じて北陸地方整備局の予備車及び長岡国道管内の他工区からの応援除雪車を調整。

② 必要な除雪工区に応援除雪車を配備。

（２）集中降雪時における除雪方法の変更（中之島除雪工区 下図参照）

① 国道8号見附市坂井町～長岡市福島町を平成28年度除雪優先区間に新設。

② 降雪状況によって除雪梯団編成を変更し、スタック車発生危険箇所を重点的に対応。

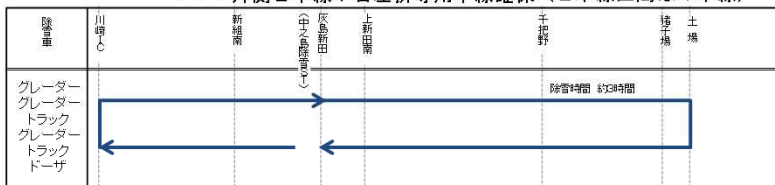
※下図の体制は、スタック多発箇所での消雪パイプ工事完成前を示す。



① 通常時 降雪状況により、i・iiを選択する。

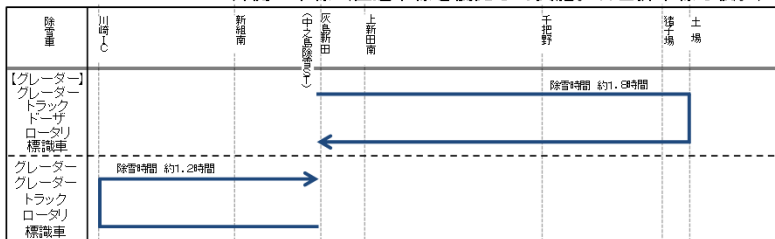
i：1梯団6台編成

・・・片側2車線＋右左折専用車線確保（2車線区間は1車線）



ii：2梯団編成（【5台＋4台】編成）

・・・片側2車線（直進車線を優先して実施。右左折車線は後。）



注1. 【 】は応援車両（除雪車）による増強を示す。

注2. 応援車輛による増強がない場合は、③については「4車線区間の右折専用車線の確保なし」として対応。

注3. ロータリ除雪車は、交差点関連除雪とする。

② 大雪警報または大雪注意報が継続し、かつ並行する高速道路が通行止めになった場合の例
（2梯団【5台＋4台】編成）

・・・片側2車線（直進車線を優先して実施。右左折車線は後。）



③ スタック車が発生した場合（除雪後に圧雪が5cm未満の場合）の例

（2梯団【3台＋5台】＋単独1台編成）

・・・片側2車線＋右折専用車線確保（2車線区間は1車線）



④ 上記③の状況に加え隣接工区からの応援が可能な場合の例

・・・片側2車線＋右折専用車線確保（2車線区間は1車線）



⑤ 除雪実施後においても5cmの圧雪が残る場合 ⇒

集中降雪へ移行
広域応援を要する

（５）コミュニティFMやTwitter等SNSを活用した情報提供の充実

- （１）関係機関と連携し、道路利用者にいち早く確実な情報を提供するため、情報提供のタイミングと提供する情報内容及び情報媒体をとりまとめた情報提供計画を策定。
- （２）情報提供ツールとなるラジオの周波数やホームページアドレスを県市報、除雪特集及び情報板で周知。
- （３）関係機関ホームページを相互リンクし、情報にアクセスしやすい環境を構築。
- （４）長岡国道事務所Twitterを今冬より開設し、道路情報の提供を開始。

集中降雪時における情報提供計画の策定

情報提供のタイミング	提供する情報内容の件子	新しい取り組み									
		県市報	FM	ラジオ	FMラジオ	FMラジオ	FMラジオ	FMラジオ	FMラジオ	FMラジオ	FMラジオ
大雪気象情報 ～大雪注意報～大雪警報 大雪警報	1) 大雪と冬装備に関する注意喚起 2) 国道通行止め等の可能性の周知		○								
大雪の特別警報	1) 大雪と冬装備に関する注意喚起 2) 国道通行止め等の可能性の周知		○								
高速道路通行止め	1) 通行止めの高速道路区間、区間の周知 2) 走行注意、車両の冬装備、不要不急の外出抑制のお願い 3) 情報連絡本部の設置		○		○						
大雪の特別警報	1) 大雪と冬装備に関する注意喚起 2) 国道通行止め等の可能性の周知		○								
対策法に基づく区間指定	1) 対策法に基づく区間指定、協力要請 2) 今後の交通規制の可能性の周知、不要不急の外出抑制のお願い		○		○						
定期報告（第1報）	1) 交通規制：高速道路通行止め、対策法に基づく区間指定 2) 交通障害：交通渋滞の発生状況及び解消の見込み 3) 走行注意、車両の冬装備、不要不急の外出抑制のお願い		○								
スタック車発生	1) スタック車発生場所、渋滞の発生状況、外出行の抑制のお願い 2) 走行注意、車両の冬装備、不要不急の外出抑制のお願い		○								
流入制限（通行止め） 集中降雪開始	1) 集中降雪による流入制限区間の告知、渋滞予想 2) 走行注意、車両の冬装備、不要不急の外出抑制のお願い 3) 迂回道路に関する情報提供		○		○						
定期報告（第2～4報）	1) 交通規制：高速道路通行止め、対策法に基づく区間指定、流入制限 2) 交通障害（スタック車発生）、交通渋滞の発生状況及び解消の見込み 3) 走行注意、車両の冬装備、不要不急の外出抑制のお願い		○								
高速道路通行止めの解除	1) 高速道路通行止めの解除の告知		○								
定期報告（第5報）	1) 交通規制：高速道路通行止めの解除、対策法に基づく区間指定、流入制限 2) 交通障害（スタック車発生）、交通渋滞の発生状況及び解消の見込み 3) 走行注意、車両の冬装備、不要不急の外出抑制のお願い		○								
スタック車処理完了	1) スタック車処理完了の告知		○								
定期報告（第7報）	1) 交通規制：対策法に基づく区間指定、流入制限 2) 交通障害（スタック車処理完了）、交通渋滞の発生状況及び解消の見込み 3) 走行注意、車両の冬装備、不要不急の外出抑制のお願い		○								
集中降雪の終了	1) 集中降雪の終了、流入制限の解除		○								
定期報告（第9報）	1) 交通規制：対策法に基づく区間指定、流入制限の解除 2) 交通障害：交通渋滞の発生状況及び解消の見込み 3) 走行注意、車両の冬装備、不要不急の外出抑制のお願い		○								
渋滞の解消	1) 渋滞解消の告知		○								
定期報告（第10報）	1) 交通規制：対策法に基づく区間指定 2) 交通障害の解消 3) 走行注意、車両の冬装備、不要不急の外出抑制のお願い		○								
対策法に基づく区間指定の廃止	1) 対策法に基づく区間指定の廃止 2) 走行注意、車両の冬装備、不要不急の外出抑制のお願い		○								

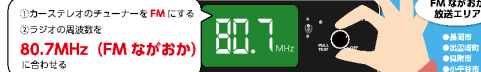
※は、隣接国道事務所を含む（高崎河川国道事務所、新潟国道事務所、高田河川国道事務所）に要請 ⇒ 広域（県内・県外）への流入抑制情報と提供
表中の△は「要請の手続き検討中」を示す。また、○はこれまでの情報提供ツールで情報提供内容を強化したものを示す。

情報板による情報媒体の周知 （国道351号長生橋右岸橋詰）

広報誌等での情報媒体の周知 （長岡市「除雪特集 特別版」）

2 FMラジオによる情報確認の方法

災害時は、ながおか防災ホームページのほか、FMラジオでも情報を発信します。
特に、道路の渋滞に巻き込まれた場合は、ラジオが情報収集の有効な手段となるため、
カーステレオの周波数をFMながおかに合わせてください。



その他
・Facebook (https://www.facebook.com/bousaidier/)
・Twitter (https://twitter.com/bousaidier)
・エヌ・シー・ティのデータ放送でも情報を発信します。

QRコードはこちら
Facebook Twitter

今冬から長岡国道事務所 Twitterを開設し、 道路情報の提供を開始。



情報連絡本部の特設サイトの開設



情報媒体の周知とHP相互リンクの実施状況 （長岡地域振興局の例）



【長岡】大雪時の道路情報について

大雪時の道路情報について

長岡地域整備部では、冬の道路を皆様が安心・安全に通行できるよう取り組んでいます。
しかし、大雪等によりスムーズな交通が困難になる可能性は「ゼロ」ではありません。
大雪時は、お出かけ前に道路情報を収集してから行動するようお願いします。
大雪時の道路情報は下記より入手できます。

⑤ ラジオ【FM80.7MHz (FMながおか)】
・災害時や大雪により交通障害が発生した時にラジオを通じて情報提供します。

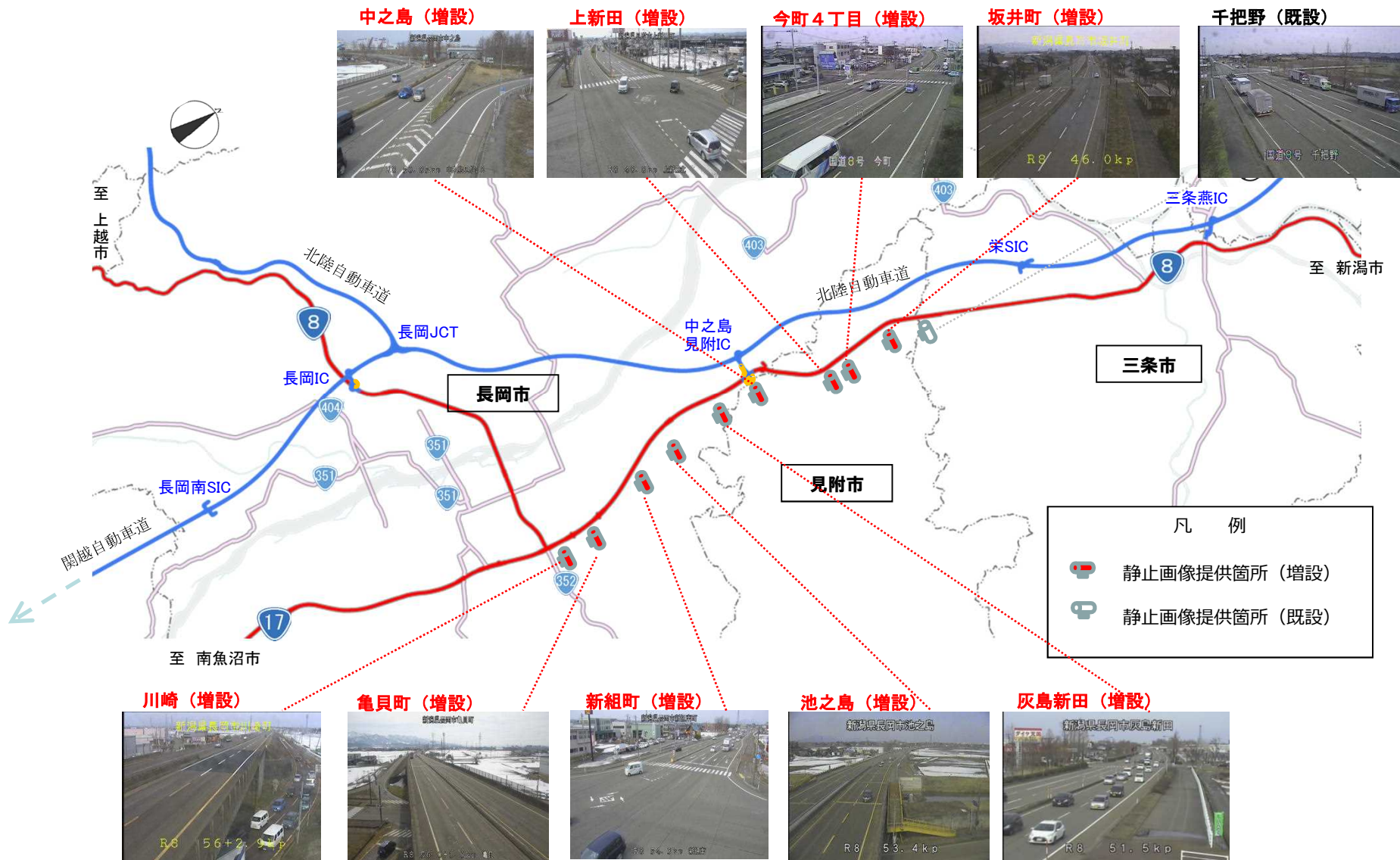
⑥ 長岡圏域の道路情報（高速道路、一般道路の情報提供）
・長岡市圏域で大雪により交通障害等の発生や懸念がされる場合は、関係機関による「情報連絡本部」より、道路情報等を一元的に提供します。
クリックすると「北陸地方整備局 長岡国道事務所」のサイトにアクセスします。

⑦ にいがたLIVEカメラ（高速道路、一般道路のライブ画像）
・新潟県内の高速道路や国道8号をはじめとした一般国道などの道路状況を画像で確認することができます。
クリックすると「新潟ふるさと情報局 にいがたLIVEカメラ」にアクセスします。

長岡周辺の道路管理に関する問い合わせ先（リンク集）

（6）ライブカメラ提供画像の増設

- （1）情報提供の強化を図るため新潟県警と連携し、『にいがたLIVEカメラ』の静止画提供箇所を大幅に増設。
- （2）この結果、国道8号見附・長岡地域（中之島除雪工区）は、1箇所 ⇒ 10箇所に増設。



3. 平成29年1月11日～16日の大雪への対応状況

(1) 情報連絡本部の開設

- (1) 1月12日 5:56 新潟地方気象台発表の「大雪と高波に関する新潟県気象情報」を受け、14日～15日にかけてセンター試験も実施されることから情報連絡本部の開設を決定。
⇒ 1月12日 11:00に情報連絡本部を開設。
- (2) 著しい交通障害の事象は発生していないこと、及び当面異常降雪の可能性が低いことから、1月16日 12:00に「情報連絡本部」を解散。

(2) 情報提供

- (1) 道路情報板の他、長岡国道事務所Twitterで道路情報を提供。
- (2) 『FMながおか』では12日に2回、13日に4回、計6回にわたり気象・注意喚起情報を発信。

(3) 除雪対応

- (1) 大雪に備え、早期の拡幅除雪等を実施して対応。

混乱防止へ連絡本部

中越地域関係機関 交通情報を共有

冬型の気圧配置が強まっているため、中越地域の関係機関でつくる「長岡圏域冬期道路交通確保連携会議」は12日、大雪に備えた情報連絡本部を開設した。長岡市の国土交通省長岡国道事務所や県、長岡市など10機関の担当者が集まり、試験も控えているため早めに会議を招集した。今後は、14、15の両日に行われる。

大渋滞では、関係機関の連携や対応の遅れが課題となった。今回は、センター試験も控えているため早めに会議を招集した。今後は、14、15の両日に行われる。

新潟日報（1月13日）

気象状況を見ながら短文投稿サイト「ツイッター」やホームページ、FMラジオなどで道路情報を発信する。

長岡国道事務所は「大雪になると道路状況の悪化が予想される。車で出かける際は冬装備を万全にし、時間に余裕を持って行動してほしい」と呼び掛けている。

交通障害は発生せず、大きな速度低下もなく交通を確保

